

「長野市子ども・子育て支援事業計画」策定のための アンケート調査 ご協力をお願い

拝啓

皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、本市では、平成 26 年度までを計画期間とする「ながの子ども未来プラン」に基づき、子どもたちが健やかに生まれ育ち、次の世代を担う子どもたちを育むための取組を推進しております。

しかしながら、子どもの育ちや子育てをめぐる状況は依然として厳しく、少子化対策や子ども・子育て支援の充実を図ることは、国・地方をあげて取り組むべき最重要課題の一つとなっており、このたび、平成 27 年度を初年度とする「長野市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなりました。**本調査は、子どもの教育・保育ニーズ等を把握し、計画に反映させることを目的**としています。

平成 25 年 8 月 16 日現在の長野市の住民基本台帳に登録されている 0 歳児から 6 歳児の子どもを養育されている市民の皆さまから、4,000 人を無作為に抽出させていただき、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

ご回答いただいた内容は、計画策定以外の目的には利用いたしません。また、回答者が特定されることはございません。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートの記入にご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

平成 25 年 9 月

長 野 市

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査は無記名です。(調査票にお名前を書いていただく必要はありません。)
2. 調査票への回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。また、「その他」の場合は()内に具体的な内容をご記入ください。
3. 数字で時間(時刻)を記入する場合は、24 時間制(例:午後 6 時→18 時)でご記入ください。
4. 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、「ことわり書き」や「矢印」に従ってご回答ください。特に「ことわり書き」などが無い場合は、次の設問にお進みください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに期限までにご投函ください。

投函期限：9 月 27 日（金）まで

◎本調査への質問または不明な点については、下記までお問い合わせください。

長野市保健福祉部 保育家庭支援課 企画担当
TEL : 026-224-8032 / FAX : 026-264-5355
E-mail : hoikukatei@city.nagano.lg.jp

回答するに当たってお読みください

長野市では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間の一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとしています。（平成27年度から実施予定）

本調査は、この計画で確保を図るべき幼児期の学校教育・保育及び子ども・子育て支援の「量の見込み」を長野市が算出するため、市民の皆さまの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

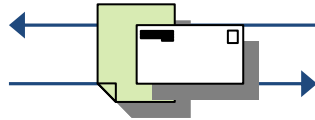
- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかげがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



子育て家庭

調査票を送付



アンケート調査等により、子育て家庭の子育て支援の利用状況や利用希望を把握



長野市



長野市版子ども・子育て会議等



幼稚園、保育園、認定こども園



小規模保育、家庭的保育等

放課後子どもプラン、地域子育て支援拠点事業、一時預かり、病児・病後児保育 等

計画に基づいて整備

長野市子ども・子育て支援事業計画 (5か年計画)

幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援について

- ・「量の見込み（現在の利用状況＋利用希望）」
 - ・「確保方策（確保の内容＋実施時期）」
- を記載

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は、以下のとおりです。

- ・ **幼稚園**：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
(学校教育法第22条)
- ・ **保育園**：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
(児童福祉法第39条)
- ・ **認定こども園**：幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ **子育て**：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ **教育**：問10までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問11以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 第一	9. 吉田	17. 安茂里	25. 七二会
2. 第二	10. 古里	18. 小田切	26. 信更
3. 第三	11. 柳原	19. 芋井	27. 豊野
4. 第四	12. 浅川	20. 篠ノ井	28. 戸隠
5. 第五	13. 大豆島	21. 松代	29. 鬼無里
6. 芹田	14. 朝陽	22. 若穂	30. 大岡
7. 古牧	15. 若槻	23. 川中島	31. 信州新町
8. 三輪	16. 長沼	24. 更北	32. 中条

※地区名がわからない場合は、町名等を記入してください。()

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)

平成	□	□	年	□	□	月生まれ
----	---	---	---	---	---	------

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問5 あて名のお子さんの子育て(教育含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他 ()
----------	---------	---------	----------	------------

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子供をみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる ⇒問7-1へ

2. ない ⇒問8へ

問7-1 問7で「1. いる」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人は誰ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族

6. 幼稚園教諭

2. 友人や知人

7. 民生委員・児童委員

3. 近所の人

8. かかりつけの医師

4. 保健師

9. 自治体の子育て関連担当窓口

5. 保育士

10. その他（ ）

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問8 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。【母子家庭、父子家庭の場合、どちらかの設問のみご回答ください。（以下、同様です。）】

※「フルタイム」：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※「パート・アルバイト等」：「フルタイム」以外の就労

（1）母親

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

（2）父親

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問9 問8の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問10へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換予定がある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換予定がある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問10 問8の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問11へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子供が 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

}	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
	イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子供が 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

}	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
	イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育園など、問11-1に示した事業が含まれます。

問11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒問11-1へ	2. 利用していない ⇒問11-5へ
-------------------	--------------------

問11-1 問11-1～問11-4は、問11で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	5. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	6. その他の認可外の保育施設
3. 保育園 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	7. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	8. その他 ()

問11-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に具体的な数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。時間は必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週あたり	<input type="text"/> 日
1日あたり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 分 (<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分～ <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分)

(2) 希望

1週あたり	<input type="text"/> 日
1日あたり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 分 (<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分～ <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分)

問11-3 現在、利用している教育・保育施設の施設名、選んだ理由、通園手段についてうかがいます。

通園している施設名	()	
選んだ一番の理由 (1つに○)	1. 自宅に近い 2. 職場に近い 3. 祖父母の家に近い 4. 教育・保育の方針・内容	5. 施設が新しい(きれい) 6. 希望する時間帯が利用できる 7. 希望がかなわずやむを得ず 8. その他()
主な通園手段 (1つに○)	1. 徒歩 2. 自家用車 3. タクシー 4. 電車	5. 路線バス 6. 通園バス 7. その他()

問11-4 現在、利用している教育・保育施設への通園距離・時間について、どの程度負担に感じますか。

1. とても負担に感じる	3. あまり負担に感じない
2. ある程度負担に感じる	4. まったく負担に感じない

問11-5 問11で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない(子供の教育や発達のため、子供の母親か父親が就労していないなどの理由で)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育園・幼稚園等に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で保育園・幼稚園等を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、質や場所など、納得できる保育園・幼稚園等がない
8. 子どもがまだ小さいため
9. その他()

問12 **すべての方にうかがいます。**

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
3. 保育園 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	8. その他の認可外の保育施設
4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	9. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
	11. その他 ()

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問13 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

※「地域子育て支援拠点事業」：親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、本市では「こども広場」「地域子育て支援センター」「おひさま広場」と呼んでいます。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)	1週あたり	<input type="text"/>	回もしくは1ヶ月当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業(具体名:)	1週あたり	<input type="text"/>	回もしくは1ヶ月当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	回程度
3. 利用していない						

問14 問13のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

1. 利用していないが、今後利用したい	1週あたり	<input type="text"/>	回もしくは1ヶ月当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	1週あたり	更に <input type="text"/>	回もしくは1ヶ月当たり	更に <input type="text"/>	<input type="text"/>	回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない						

問15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①平日マタニティセミナー	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②休日マタニティセミナー	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③乳幼児健康診査・健康教室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④保健センターの健康育児相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤公民館の子育て講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥就学に係る教育相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦子育てガイドブック	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧ながの子育て家庭優待パスポート	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問16 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※「教育・保育事業」：幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	}	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	}	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

問16-1 問16の(1)もしくは(2)で「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	3. 親族の介護や手伝いが必要なため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

問17 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	利用したい時間帯 [] [] 時 [] [] 分から [] [] 時 [] [] 分まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	

問17-1 問17で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

**あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問18 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問11で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問19にお進みください。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒問18-1へ	2. なかった ⇒問19へ
----------------	---------------

問18-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字)。

なお、「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業(緊急サポート)」による利用も含まれます。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	[] [] 日
イ. 母親が休んだ	[] [] 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	[] [] 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	[] [] 日
オ. 病気・病後児の保育を利用した	[] [] 日
カ. ベビーシッターを利用した	[] [] 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	[] [] 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	[] [] 日
ケ. その他 ()	[] [] 日

問18-2 問18-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	⇒	<input type="text"/> <input type="text"/>	日
2. 利用したいとは思わない		⇒問18-3へ	

問18-3 問18-2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	4. 利用料がかかる・高い
2. 地域の事業の質に不安がある	5. 利用料がわからない
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間 日数など）がよくない	6. 親が仕事を休んで対応する
	7. その他（ <input type="text"/> ）

問18-4 問18-1で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい	⇒	<input type="text"/> <input type="text"/>	日	⇒問19へ
2. 休んで看ることは非常に難しい		⇒問18-5へ		

問18-5 問18-4で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	3. 休假日数が足りないので休めない
2. 自営業なので休めない	4. その他（ <input type="text"/> ）

**あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問19 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （使用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. ベビーシッター	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
6. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
7. 利用していない	

問19-1 問19で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がわからない
2. 利用したい事業が地域にない	7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
3. 地域の事業の質に不安がある	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	9. その他（ ）
5. 利用料がかかる・高い	

問20 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	<input type="text"/> <input type="text"/>	日
ア. 私用（買物、子供（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的		<input type="text"/> <input type="text"/>	日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等		<input type="text"/> <input type="text"/>	日
ウ. 不定期の就労		<input type="text"/> <input type="text"/>	日
エ. その他（ <input type="text"/> ）		<input type="text"/> <input type="text"/>	日
2. 利用する必要はない			

問21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1年間の対処方法		日数
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	カ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. なかった		

問21-1 問21で「1. あった ア.（同居人を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。⇒ア. 以外を選択した方は問22へ

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

あて名のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問22 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後子どもプラン」施設の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※「放課後子どもプラン」：平日の放課後・土曜日・長期休み時に、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童やその他の利用希望児童を対象に、指導員を配置し、地域の方々の協力を得ながら、安全、安心な居場所を確保し、遊びや生活、学びや交流の場を提供するものです。なお、おやつ代等の実費がかかる施設があります。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 放課後子どもプラン施設 (児童館、児童センター、子どもプラザ、 児童クラブ)	週	<input type="text"/>	日くらい
		→下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで	
5. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
6. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

問23 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後子どもプラン」施設の場合には、利用を希望する時間、何年生まで利用したいか、も□内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※だいたいのこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 放課後子どもプラン施設 (児童館、児童センター、子どもプラザ、 児童クラブ)	週	<input type="text"/>	日くらい
		→下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで	
		→ <input type="text"/> 年生が終わるまで	
5. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
6. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

**すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。**

問24 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（ <u>いずれかに○</u> ）	父親（ <u>いずれかに○</u> ）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 5px;">取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）</div>	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 5px;">取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）</div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ）

問24-1 問24で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒該当しない方は、問25へ

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した |

(2) 父親

- | |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した |

問24-2 問24-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1つ に○をつけてください。

なお、年度初めでの保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問24-3 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

※「短時間勤務制度」：3歳までの子どもを養育する労働者に対し、1日の所定労働時間を原則として6時間とし、所定外労働を免除することを事業主の義務とするなど、労働者の仕事と子育ての両立を一層進めるための制度で、育児・介護休業法に定められています。

(1) 母親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

(2) 父親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

問24-4 問24-3で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由はなんですか。当てはまる理由のすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

問24-5 問24-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育園があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育園があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

